女性きらり 子どもキラキラ

地方創生 新春対談

山碕町長

山陰中央新報社 高尾雅裕さん

「女性が自分らしく輝く」
飯南町総合戦略の大きな目標のひとつ。
８名の女性が、まちへの想いや本音を語ります。

※敬称略

町長 女性が輝くまち、子どもがキラキラ輝くまち、飯南町で出産・子育て・教育を、そしてこの町に住み続けたいと言っていただけるまちづくりを進めたいと思い開催しました。

飯南町での子育て

舛田 子育てを始めて8カ月ちょっと。保育所に入る前の子が通っている、子育て支援センター「ぽっとカフェ」をよく利用しています。週1回なので回数を増やしてもらえると嬉しいです。同級生のお母さんと知り合えたり、悩みを言えたり、情報をもらったり。すごくありがたい場所だと感じています。

高尾 安心して出産できたと思うことは？

舛田 小さい町なのに4つも保育所がある。私は、親がいるからこそ安心というのもありますが、施策が充実していると思います。

中野 飯南町に来て良かったと思うのが、保育士さんや学校の先生が、親身になって相談に乗ってくれたこと。近くにおじいちゃん、おばあちゃんがいないので、本当にありがたいです。都会ではあまりこういうことはないのかな。おじいちゃんおばあちゃんがいる人はもっと子育てしやすいのかな。

後藤 どんどん支援が変わってきている。保育料の減免とか、全額免除、とても助かっています。第3子以上世帯の応援事業は28年度からということですが、具体的にどんなことをされるのですか？

町長 経済的な支援を考えています。夫婦で望む子どもの数が3人だが、実態は約2人。希望が叶えられる支援を考えたい。

小野田 私の家は核家族で、志々地区には学童保育がない。子どもが学校から家に帰って、その時間どうしようかということがあります。

塾も遠いので送迎の問題がある。バスを出してもらえると助かります。それでも、5人目を考えたいくらい子育てしやすい町だと思う。

町長 子育ては飯南町にとって大きなテーマ。邑南町が子育て日本一を掲げているが、中身を見れば飯南町も同じくらいのレベル。

制度があるのに、知られていないこともある。広報をしっかりしないといけない。

医療・福祉体制

吉田 飯南病院があることが大きいですね。総合医の先生がおられて、どんな病気・年代でも診てもらえる。重度の方ならドクターヘリで大きな病院に行くこともできる。

福祉施設も充実していて、島根県の中でも恵まれた医療・福祉の町だと思う。子育てしやすい町とあわせて、老後も安心の町ですよね。

病院には、子どもからお年寄り、病気の方、親世代もあつまる。そこに行けば買い物もできて、車で送り迎え。「そこに行けば生活の全部終わっちゃったよ」みたいなことができる、福祉医療のまちができればいいな。

高尾 健康づくりを森林セラピーにからめていかがですか？

松田 何も考えずに散策する。普段の生活を忘れて森を歩くのが心の面で健康につながると思います。

アメリカやイギリスの人が自転車で走るのを楽しみに町内に来られました。田舎に魅力を感じておられるのだと思います。２０２０年に東京オリンピックがあって外国人旅行客も多くなるのではないでしょうか。

町長 飯南病院の角田院長が総合医としての10箇条、私たちがまちの医療を守っていきますという決意を示されました。

認知症重度化予防塾を、福祉施設のみなさんが進んで参加・実践して効果が現れています。飯南町の介護士さんは強い思いを持って診ているのだと、どんどん発信してほしい。

竹村佑子さん

後藤麻紀さん

小野田知子さん

奥野恵子さん

森林セラピーについては、介護予防ということで、各地域へ森林セラピーと銘打ったコースを設定する計画です。

世界で活躍できる人材

小野田 ふるさと教育で田植えや稲刈りを体験して、地域の人との関わりを深めている。

高校一年生の子は、東京に行くと決めているようですが、いずれは帰ってくるからと言って、「結婚して子育てするなら飯南町でしょう」と言っています。

後藤 タブレットパソコンを使った学習は、世界が広がるのかなと思います。私たちが学生の時とは変わってきましたね。

町長 飯南町が力を入れているのがＩＣＴ教育。飯南高校と県内の進学校と言われる高校の学力の伸びのデータを比較すると、飯南高校に進んだ子の方が高い伸びを示しています。

小学校の総合学習や飯南高校の生命地域学などで、飯南町について学ぶ、提案する形での一貫教育が、良い方向に進んでいると思っています。

「食」の魅力

奥野 飯南町はコメや野菜、あたり前のものがおいしい。高校の生命地域学という勉強の中で、ワニロールとリンゴを使った「めぐみ」というコラボメニューを一緒に考えました。若い世代が、食に関心があるのはうれしいですね。

後藤 加圧玄米をイベントでもらってごはんに混ぜ食べてみましたが、玄米みたいに堅くなくておいしかった。でも値段が高くて手が出ないかな。

竹村 私は、飯南町のおいしい野菜をあえて都会には出荷せずに、生産者の顔が見えるようにして、どうしたら直売所に人が来てくれるかを考えるのもいいと思います。

町長 飯南町は神戸川などの源流のまち。どこにでもある訳ではないし、お金をかけてつくれるものでもない。そこから流れる水で米や野菜をつくるということは、イメージアップにつながると思います。

お米の販売店の方が口をそろえて言われるのが、田の畦の草刈りがきちっとされている。今、耕作放棄地が問題になっていますが、飯南町にはほとんどない。環境・人の魅力、まるごと飯南の魅力として売り出したい。

ここがいいところ！

奥野 この地域のいいところは、同世代じゃなくて若い人やおじいちゃんおばあちゃんとか、世代を超えて会話ができること。やっぱり、人が良いからここの地域が好きっていう感じがします。

小野田 ここに来て18年が経ちますが、四季が感じられるこの雪景色も、寒いけど大好きです。鳥の声を聞きながら洗濯物を干して、日々の何気ないことに幸せを感じる毎日。ここに来て良かったとつくづく思います。

子育て真っ最中ですが、地域で育てるという雰囲気を強く感じ、居心地が良くて。

中野 四季を感じにくい都会だと、生きている感じがしないですよね。感性が磨かれるのは田舎の方。星もきれい。

軽トラックもエンジンをかけたまま、そこはもう信頼関係なのかなって。治安の良さに驚きました。病気もあまりしなくなりました。

竹村 東京にいたころは引っ込み思案だったけど、気がついたら人と話すことが好きになっていました。同世代以外の人と接する機会が増えたからかな。

自分自身が成長できたことも、定住へつながったきっかけのひとつ。

町長 女性のみなさんがいきいきとした姿を見せてくれれば、飯南町は元気。

みんなで力を合わせていい町にしていきましょう。

松田紗耶香さん

吉田元子さん

中野晴美さん

舛田由里香さん